

世界の食品包装規制 の最新動向・展望

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時:2018年9月27日(木) 10:30~16:30
- ◆会場:江東区産業会館 第2会議室
- ◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
 ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**
 ※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
 (ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】日本包装専士会 顧問(元会長) 西 秀樹 氏

【講座の趣旨】

食品の交易増加に伴い、世界中で食品包装規制の整備が進展している。日本では本年6月7日、食品衛生法改正が成立し、遅まきながら日本も2020年の東京五輪前に国際整合化を目指してPL制度化が進むこととなった。一方、レトルト、電子レンジ想定の出試試験条件の改正等の審議は時期未定であり、国際的には大きく後れを取っている。EUはプラスチック規則が略完成し、本年中には印刷インキの規制を公表予定であり、今や国際標準となったと言える。米国は独自の製品登録制度が定着し、中国はEU類似の国家標準へ転換中である。韓国、台湾、加はPL審議中、ASEANは共同基準化を検討中であり、湾岸諸国と南米諸国はEU類似の共同基準作りを進めている。

企業としては包装材料の輸入が増える状況下、国内外の最新動向を把握し、確実な品質保証の取り組みが必要となる。これらの法規制の最新動向と今後の展望に関し解説する。

【プログラム】

1. 初めに 一包装を取り巻く環境一
2. 日本の食品包装の法規制類
 - 2.1 食品包装材料の種類と使用割合
 - 2.2 食品衛生法:規制対象と規格、及び現状の課題
 - 2.3 業界自主基準
:樹脂・添加剤のPL、印刷インキ・接着剤のNL
3. 欧州連合(EU)の規制
 - 3.1 食品接触物質とプラスチックの規則の概要
 - 3.2 印刷インキ、接着剤、コーティング剤の規制検討状況
4. 米国の規制
 - 4.1 連邦規則集・接着剤のPL・製品別登録制度の定着
 - 4.2 食品安全近代化法

5. 日欧米の現状比較と日本の課題、
及び食品衛生法改正の進捗状況
 - 5.1 乳等省令統合案及び溶出試験条件改正案
 - 5.2 PL制度化進捗状況:改正案と国会審議、今後の法制化見込み
 - 5.3 企業としての対応と留意点
6. 中国・東南アジア・オセアニア等の最新動向
 - 6.1 中国
 - 6.2 韓国、台湾、インド、インドネシア、ベトナム、タイ等
 - 6.3 オセアニア、湾岸諸国、南米南部諸国等
7. 食品包装規制の最新動向のまとめと展望
:EU規則が世界標準に略定着・日本は?
8. まとめ 一企業としての対応・品質保証の進め方一
9. 参考文献と情報入手先
《質疑応答・名刺交換》

『食品包装規制』セミナー申込書

FAX:03-5857-4812

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記の上、FAXでお送りください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>